



# 杉中だより

令和6年度  
No.12



ホームページ

「じりつ(自立・自律)・共生・チャレンジ」

枚方市立杉中学校 TEL: 050-7102-9240 FAX: 072-858-8985

## 年度末にあたって～次のステージを見据えて～

いよいよ3年生は卒業まで数えるほどになりました。義務教育9年間からの卒業は、人生の大きな節目のひとつです。中学校の集大成としてのこの日を、みなさんがどんな気持ちで迎え、どのように完結するのか、誰もが楽しみにしています。また、すでに終わった私学入試に続いて12日には公立の入学選抜を控えています。もう進路決定できた人もこれからの人も、気を抜かずに学習に励んでほしいものです。今できることは何なのか、それを投げ出さないことが、すべてのスタートになっています。

2年生は来年の自分を思い描いて過ごしてみてください。自分は一年後にどんな姿で卒業を迎えたいのか、それがこれからの一年間の目標になるはずです。1年生は、3年生の先輩たちが、中学校生活でかけがえのない大事なものを得たことを理解し、これからの自分の学校生活をいかに大切にしていけるかを考えてほしいと思います。

## ☆「一秒の言葉」から、令和7年度も「だれもが誇れる学校」をめざして～

校長室前の壁面の掲示物をリニューアルし、右の詩を掲示しました。これは、1985年(昭和60年)の大晦日の夜、民放テレビの「ゆく年くる年」の番組冒頭で、たった一度だけ流れたテレビコマーシャルで使われた詩です。当時、新たな年を迎えようとしている多くの人々の心を打ち、大きな反響を呼びました。この詩の作者は、漫画家でもある小泉吉宏氏で、時計で有名な服部セイコーのコマーシャルに採用された詩でもありました。

私が杉中学校に着任し、丸2年が経とうとしています。わずか2年間を振り返るだけでも「そういえば、あの時の『ありがとう』の言葉、うれしかったな。」「あの場面ではすぐに『ごめんなさい』と素直に言葉にすればよかったな。」等と一つや二つのエピソードが浮かんできます。それとともに「たった一言が人の心を傷つける たった一言が人の心をあたためる」ということ、改めて心に刻みたいところです。

杉中学校を取り巻く人たちが交わす「一秒の言葉」が、自分や相手に元気と勇気を与えるものであってほしいと願います。そして、そのような言葉があふれ、杉中学校がもっと「誰もが誇れる学校」となるように、とも願ってやみません。

最後になりましたが、本号が今年度の最終号です。この一年、保護者のみなさま、地域のみなさまには、本校の教育活動にご理解とご協力いただき、感謝申し上げます。ありがとうございました。

### <4月当初の主な予定>\*変更する場合があります。

- 4日(金)入学式準備・清掃、7日(金)入学式、8日(火)始業式・対面式、
- 9日(水)生徒会オリエンテーション、10日(木)給食・清掃開始、11日(金)身体測定、
- 15日(火)3年生全国学力・学習状況調査、25日(金)授業参観・学級懇談会・クラブ懇談会

一秒の言葉

小泉 吉宏

「はじめまして」  
この一秒ほどの言葉に、一生のときめきを感じることもある。

「ありがとう」  
この一秒ほどの言葉に、人のやさしさを知ることがある。

「がんばって」  
この一秒ほどの言葉に、勇気がよみがえってくることもある。

「おめでとう」  
この一秒ほどの言葉に、幸せにあふれることがある。

「ごめんなさい」  
この一秒ほどの言葉に、人の弱さを見ることがある。

「さようなら」  
この一秒ほどの言葉が、一生の別れになるときがある。

一秒に喜び、一秒に泣く。  
一所懸命、一秒。



